



ハキダメギク(キク科) 舌状花は5枚あり、白くて短い。



ヒヨドリバナ(キク科) 白い筒状花が円錐状につき、長くて白い花柱をのぼす。



アラゲハンゴンソウ(キク科) 中心部は黒紫色。



ブタクサ(キク科) 葉は羽状に深裂し、総状花序に雄花が密集して花粉をまき散らす。



オオブタクサ(キク科) 葉は掌状に裂け、総状花序に雄花が密集する。2m以上になる。



ナワシロイチゴ(バラ科) 大粒の赤い実がなる。



ヒヨドリジョウゴ(ナス科) 葉は朝顔より切れ込みが1対多い。



ケイツネノボタン(キンポウゲ科) 果実は金平糖状に集まる(キツネノボタンでは先が鉤状に曲がる)。



トモエソウ(オトギリソウ科) 葉は対生し、5枚の黄色い花弁が巴状にまがる。

淡紅色の花が密集した花穂が互生する。



エビツル(ブドウ科) 葉裏に淡褐色の毛が密生する。



オトギリソウ(オトギリソウ科) 葉は対生し、黒点を持つ黄色い5弁花が数個ずつ咲く。



ノブドウ(ブドウ科) 葉裏は緑色で毛は密生しない。



ショウジョウソウ(トウダイグサ科) 上部の葉の付け根近くが紅色になる。



シマスズメノヒエ(イネ科) 小穂が4列に並んだ花序枝が互生する。



チダケサシ(ユキノシタ科) 葉は奇数羽状複葉で、



キュウシュウスズメノヒエ(イネ科) 小穂の密生した枝が二叉になって出る。



コジュズスゲ(カヤツリグサ科) 米粒のような果胞がつく。



カラスビシャク(ウマノスズクサ科) 紙を巻いたような仏炎苞と長い棹のある花が咲く。



ヤマユリ(ユリ科) 黄色い筋と赤褐色の斑点のある大きな花を咲かせる。香りが強い。



スイカズラ(スイカズラ科) 花は芳香をもち、白から黄白色へと変色する。



ノカンゾウ(ユリ科) 一重の橙赤色の花が咲く。



ネムノキ(マメ科) 薄紅色の長い雄しべが目立つ。夜には葉が閉じる。



ヤブカンゾウ(ユリ科) 八重の橙赤色の花が咲く。